

第九回

白川静漢字教育賞

福井県では、漢字文化の振興に寄与された本県出身の白川静博士を顕彰し、特色ある漢字教育を実践している方や、漢字文化の普及や生涯学習の推進に貢献している方、ならびに、漢字に親しむ小・中学生を全国から公募、表彰します。

一般の部

1 対象

新しい指導法や特色ある教材・作品制作などによって、継続的に漢字教育や漢字研究を実践し、成果および努力が認められる個人および団体

表彰

最優秀賞
副賞5万円
優秀賞
副賞1万円

2 対象となる活動内容

- ・漢字に関する能力向上を目的として、学校や社会教育で行われる漢字教育実践
- ・漢字文化の普及に向けた教材（映像、デザイン等）や作品（書作品、演劇、文芸等）の制作発表等
- ・大学や青年大学などで取り組んでいる漢字に関する研究や実践

3 応募方法

- ①申請書（様式1）
 - ②実践報告書（様式2）
- 以上、2点の提出

※福井県のホームページからダウンロードできます。

小・中学生の部

1 対象

小学校4～6年生
中学校1～3年生

2 内容

- 【漢字川柳部門】漢字の成り立ちに関するオリジナル川柳
- 【漢字作文部門】漢字にちなんだ自由作文（400字まで）
- 【自由部門】白川静博士や漢字をテーマにしたもの

例：タブレットによる漢字の紙芝居・白川博士新聞・漢字ダンス・漢字成り立ちカルタ・漢字調べ学習・古代文字書等

3 応募方法（応募用紙を貼付し下記へ応募）

- 【漢字川柳部門】 応募用紙（様式3）
- 【漢字作文部門】 ①応募用紙（様式3）
②作文
- 【自由部門】 ①応募用紙（様式3）
②作品等
③②の解説

※福井県のホームページからダウンロードできます。

表彰

優秀賞
図書カード
3,000円

4 選考委員（敬称略）

- 棚橋 尚子 奈良教育大学教育学部教授
- 加藤 徹 明治大学法学部教授
- 後藤 文男 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所上席研究員
- 伊与登志雄 福井新聞社参事・特別編集委員
- 津崎 史 白川静博士文庫
- 豊北 欽一 福井県教育委員会教育長
- 小・中学生の部のみ
- 福井県小学校教育研究会国語部会長
- 福井県中学校教育研究会国語部会長

5 表彰式（令和4年11月頃）

※添付された資料はお返しいたしません。
※過去に他団体の教育賞などに入賞したものは、白川静漢字教育賞以外の賞と重複して応募したものは、審査の対象外とします。
※応募後の審査状況や選考結果に関するお問い合わせには応じられません。

応募締切

2022
9/12(月)

当日消印有効

お問い合わせ・応募先

福井県教育庁生涯学習・文化財課
白川静漢字教育賞係

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
Tel: 0776-20-0559 Fax: 0776-20-0672
Email: syoubun@pref.fukui.lg.jp

主催 福井県・福井県教育委員会
協賛（書籍提供） 株式会社平凡社・株式会社太郎次郎社エディタス



（詳細はHPで）

FAXの場合送付票は不要

様式1

福井県教育庁生涯学習・文化財課 白川静漢字教育賞係 行
 TEL：0776-20-0559 FAX：0776-20-0672 E-mail：syoubun@pref.fukui.lg.jp

白川静漢字教育賞【一般の部】申請書 提出日：令和4年 月 日

| | | | | |
|----------------------|--|--------|--|-----------|
| (フリガナ) 氏名 生年月日 | | | | 年 月 日 生 歳 |
| 所属等 | TEL | | | |
| 現住所 | (〒 -) | | | |
| 連絡先電話番号 | | E-mail | | |
| 実践の概要 | タイトル | | | |
| | 実践の内容について(○を付けてください) ・漢字教育実践 ・普及に向けた教材や作品の制作や発表 ・漢字に関する研究や実践 | | | |
| | 実践の対象について(○を付けてください) ・学校教育(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) ・社会教育 ・その他() | | | |
| | 実践の要点について(簡潔にまとめ、詳細は別紙実践報告書に記入してください) | | | |
| 職歴 おもな活動歴 | | | | |
| 受賞歴 | | | | |

この賞について何でお知りになりましたか?○をつけてください。(複数回答可)

- ・チラシ
- ・HP
- ・知人の紹介
- ・研究会(名称)
- ・その他()

受付番号

体裁 A4版 縦 4ページ以内
見出し ゴシック体 または太字
本文 明朝体 10.5ポイント以上、グラフ、表、写真等の挿入可

様式2

白川静漢字教育賞【一般の部】実践報告書

1 目的・ねらい

2 実践の内容

※実践日を明記してください。
※1～3つの実践例をご報告ください。

3 実践の成果

※できるだけ具体的にご記入ください。

のりしろ

| | | | | |
|-----|------------------|----------------|----------------|------------|
| 学校名 | 国県私 市区立 町村 | | 学年 小学 中学 | 氏名 フリガナ |
| | 部門 | 川柳 作文 自由 | | |



—上記の応募用紙を【漢字作文部門】【自由部門】は切り取って作文や作品の右下に貼付、【漢字川柳部門】は下記の票とともに応募してください—

| | | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|---|
| <p>・一つの漢字を取り上げて、「漢字の成り立ち」に関する川柳を一句作ってください。 ・風刺的な要素は入れなくて大丈夫です。</p> | <p>よみ</p> | <p>よみ</p> | <p>漢字</p> | <p>【漢字川柳部門】の用紙として使用してください。(コピー可。一句につき一枚を使用。) 別の用紙でも構いませんが、漢字の成り立ち、参考文献等、読みも必ず記入してください。 漢字の成り立ち(参考文献等) ()</p> |
|--|-----------|-----------|-----------|---|

さあ、チャレンジ!!

「小・中学生の部」優秀賞の商品は図書カード(3000円)です!

こんな作品を募集しています

1 漢字川柳部門

漢字の成り立ちに関するオリジナル川柳(5・7・5の17文字、読みも含む)を作ってください。

例 漢字・衆

「**すぐ**持つて**壺**を**楽**ませて**踊**る」
*風刺的な要素は入れなくて大丈夫

2 漢字作文部門

漢字にちなんだ自由作文を**400字**に収まるように書いてください。

(題名・氏名は含まない)

例 名前についてのエピソード、印象に残った漢字など

3 自由部門

白川静博士や漢字をテーマにしたものなら何でもOK。考えたことや工夫した点など解説を添えて応募してください。

例 タブレットによる紙芝居、漢字成り立ちカルタ、漢字ダンス、漢字についての調べ学習、古代文字の書作品(集まれ!わたしの漢字展)の作品からも応募できますなど

漢字を楽しく
“かんじ”よう!

